



議会だより7月号でお知らせした次回定例会の開催予定が変更になりました。  
 【9月定例会の予定】※現時点での予定です。  
 会期 9月1日～15日 一般質問 9月6日・7日  
 【請願陳情締切り】 8月16日

議会に対するご意見をお聞かせください。

電話

☎0269(82)3111  
 (内線170)

E-mail

gikai@vill.kijimadaira.lg.jp

発行：木島平村議会  
 編集：議会だより編集委員会



## アイデアとやる気で木島平村創生へ・にぎやかそう！

山本 隆樹 議員

### ふるさと納税について

#### 質問

この制度は、2008年に創設され15年経過している。メリットとして、自治体側は幅広く収入を確保できることに加え、特産品を返礼品にすることによって、地域の消費を拡大することともに、観光PRにもつなげることができ、木島平村へのファン、サポーターとして応援いただける。

寄付金は大まかに、3割が返礼品に充てられ、2割はふるさと納税サイトの手数料、残りの半分（5割）が自治体の収入になる。

村の現状を伺う。

#### 湯本産業企画室長

寄付額の推移は、平成26年度から制度を活用して以降、3000万円前後で推移。令和2年度に6900万円の寄付をいただいて以降、令和4年度実績では5899万円となっ

ている。件数は、おおむね寄付額に比例し、令和2年度以降、1500件から2000件前後で推移。

返礼品の動向は、件数ベースではハチミツ、村長の太鼓判をはじめとした米、野菜などが人気であり、寄付金額ではマッサージチェア、村長の太鼓判、信越自然郷共通リフト券などが上位。

令和5年度の目標数値は、当初予算ベースで5000万円の給付額を見込むが、最終的にはスキー場等、新たな返礼品の期待もあり、おおむね8000万円前後を目標と考えている。

寄付額増の取組みは、村内の事業者や生産者の皆さんに、積極的に周知をしながら、新規返礼品の提案と募集を行っていくほか、E・B・I・K・E・L・E・Nタルやツアーなど、観光振興局などとも連携しながら、村内における体験の返礼品も検討している。

また、インターネットを通じての寄付が大半を占めているため、寄付の窓口となる「ふるさと納税ポータルサイト」での魅力アップや、返礼品の魅力が伝わる写真編集などに取り組んでいきたいと考えている。

さらに、スキー場とも新たな返礼品について検討していく予定であり、今後、事業の内容が確定したところで協議を進めていきたい。

近隣市町村との比較と課題として、北信管内の6市町村との比較では、令和3年度の寄付額は少ない方から2番目。

返礼品の違いは、中野市は果樹、飯山市はパソコン、山ノ内町・野沢温泉村は宿泊券を中心としている。

本村は、米やハチミツなどの農産物を中心としており、少し高額で普段なかなか買えないような返礼品が少ないといった課題がある。

前述の寄付額増の取組みを行いな

#### 質問

### ファームス木島平の未来

がら、新たな返礼品の工夫も含めて寄付額の増加を図る。

一般質問で毎回のように取り上げられ、答弁として「今後も必要な場所として考えている。住民の皆様のご意見を伺いながら、地域活性化、賑わいを創出できる施設として検討を進める。今後、運営を希望する民間事業者と共に検討を進めていく」としている。今後の運営改善方針を伺う。

#### 村長

国庫補助事業による長期利用財産であるため、令和7年3月以降に運営を希望する民間事業者と共に、真に必要な機能を備えた施設を整備することで村の活性化を牽引する施設運営をめざしていく。

今後、施設のコンセプトや整備内容、公共的機能について関係者や村民の皆様の意見をお聞きする機会として、検討委員会を予定している。施設の規模や事業費、集客機能、公共性、今後の維持管理方法、将来性などを併せて検討していく。

（前略）



# 持続可能な村とは「農業が元氣・地域が元氣」だ。

関 達夫 議員

## 持続可能な農を育む

### 質問

農業生産に関わる飼料、肥料、農薬などの価格が高騰している。特に酪農は飼料価格の高騰により危機的状況にある。北海道では多数が廃業に追い込まれている。

村内の酪農の糞尿処理の解決のため堆肥センターは造られ、「有機の里」の発信による堆肥の利用が農家に浸透し、農家の支援にもなっている。

今まさに肥料高騰のとき、堆肥利用の再確認を。農業で成り立つ本村は、環境にやさしい循環型の農業、消費者志向に合った有機栽培の農業、農産物を積極的にPRすべきと思う。

①堆肥センター運営にあたり、近隣区との話合いの状況と方向について、どう対処していくか。

②施設の運営はきこの農家、酪農の支援のためにも廃止はすべきでない。今の考えは。

③牛乳の消費拡大の施策は。

### 村長

①地元関係者の皆さんと協議を進める必要がある、村の方針だけでは難しい。相談させていただく。

②必要な施設と理解している。密閉型でなく、開放型施設にしていくことを優先に考えている。

③村レベルでは難しいため、JA等に対策をお願いしていきたい。保育園、学校には毎日提供している。

### 再質問

堆肥センターは臭いを問題にするのでなく、「堆肥は村の有機農産物を作る上で必要」と広報し、農業者、消費者双方に理解を求めべき。開放型の施設の建設場所および予算は検討しているか。

### 村長

周辺住民の皆さんの理解の上で成り立っている。生活環境に配慮しないといけない。

### 湯本産業課長

現時点では今の場所を考えているが、周辺住民の皆さんと協議したい。予算の概算は把握している。

## 職員のキャリアアップと村民の満足度は

### 質問

「村民生活の向上と安心して暮らせる持続可能な村づくりをめざす」と村長の施政方針にあり、それを実行するのは職員である。

民間企業の人事評価制度と手法に違いはあると思うが、めざすところは同じ。企業は人なり、役場も人なりだと思う。

村民の負託に応える職員のやりがいや育て、スキルをどう上げていくか、手法を伺う。

### 村長

職員のやりがいは、組織の成果に繋がる大事なことである。村人材育成方針に基づき、意識改革、意欲や能力向上、自己啓発の一層の推進を図っている。管理職員は、積極的に職員間との意思疎通を図り、

日常の課題解決に取り組み、村民から信頼される職員をめざして、人材育成を今後も継続していく。

### 丸山総務課長

人事評価は、能力評価、業績評

## 除雪体制の見直しを

### 質問

積雪は住民にとってはハンデキヤップと感じ、若年層の村外流出にも影響を与えている。

①除雪計画の見直しを。

②区長を通じて除雪の依頼をしているが、降雪量の多い時、電話依頼は何件あるか。

③朝7時までに除雪を終了するとあるが、各作業員任せで遅れないか。

### 村長

①安全で円滑な冬季交通の確保を図っている。安定した除雪体制が維持できるように協力願いたい。除雪計画は毎年見直しを行い、改善しながら進めている。

### 小松建設課長

②圧雪処理等は要請に応じ、その都度対応しているため、依頼件数等の統計はとっていない。

③大雪で除雪作業に時間を要する場合には、午前7時の完了を目標に、午前2時やそれよりも早い時間に作業に入る場合もある。昨年度からGISシステムを取り入れ、除雪車の位置情報をリアルタイムで確認できる。効率的に対応していく。



# 観光施設民営化等に伴う「村の負担軽減分」はそのメリットが実感できる施策に充当を！

江田 宏子 議員

## 観光施設完全民営化に伴う対応等について

### 質問

① 民営化に伴い、軽減が見込まれる「村の負担額の試算」と譲渡による「固定資産税の見込額」は。

② ①の相当額(または何割か)を充当施策として位置づけたり、基金等で積立てたりする考えは。

③ リフト券やパノラマの入湯料等、村としての村民割引の対応は。

④ ホテルシユースベルク・にこにこファームの今後の考えは。

### 村長

① パノラマランドの大規模改修やリフト更新など含め10年間で約29億4千万円(年平均で約2億9千万円)と試算。

② 社会保障や子育て環境の充実など、人口減少対策を進め、現時点で試算額の積立は考えていない。

### 湯本産業課長

① 固定資産税の見込額は税情報なので答えられない。

③ スキー場は中学生までの割引を予算化。入湯券も予算化したが、馬曲温泉の運営事業者がいなかったため、発行の用途はついていない。

### 再質問

① リフト券の大人の割引は。

② 公社でのそば栽培にメリットはあるか。にこにこファームを借りたという声もある。

### 村長

① 場合によると村負担も考えられなくはないが、その際は、議員の理解をお願いしたい。

### 湯本産業課長

② クロスカントリーコースとの調整もあり、多様な活用が想定されるなら、改めて検討が必要。

### 質問

① 可燃ゴミ削減の具体的な取組みは(他の自治体の実践内容も例示)。

② 「衣類&古布回収」の回数増や、「陶磁器回収」「プラスチック製品の分別収集」はできないか。

③ 学用品の学校備品化や、学用品・制服・運動着等のリユース(おさ

## 廃棄物の削減等の対策について

がり)システムの検討を。

④ 本村は県の「景観育成重点地域」に指定されている。村内にある金属リサイクル施設に対し、景観の観点から改善を求められないか。

### 山寺民生課長

① 広報等での特集、生ごみ堆肥化機器購入費補助額の改定など。

② 「古布回収」は実施時期や回数を検討。「陶磁器・プラ製品」は、飯山市の状況(試行)を参考に、岳北広域3市村で実施を検討。

④ 県主体で行っている立入検査の内容は、違法回収や保管状況など。鉄くずの積上げは崩れる危険性もあり、景観に配慮し、残置しないことなどの指導を行っている。

### 小松建設課長

④ 屋外における物件の堆積で、高さ3mまたは面積100㎡を超える行為は、景観法の規定で30日前までに県への届出が必要。県の景観条例適合への指導も可能。県と相談し対応したい。

### 島崎子育て支援課長

③ 基本的には個人持ちとし、学校備品化は考えていない。リユース制度は、現在準備中。

## 子どもに関わる政策について

### 質問

「地域で子どもを育てる」ことが、ますます重要になっている。

① 「子ども基本法」の制定により、これまで以上に力を入れようと考えていることは。

② 様々な体験活動の提供、時間的な保障や見守る姿勢等、現状の取組みと今後の構想について。

③ 中・高校生の居場所づくりも大事。具体的な考えはあるか。

④ 雨天や冬の遊び場、長期休み中の居場所づくり等ができないか。

⑤ 「主権者教育」「キャリア教育」の取組みの現状と今後の構想は。

### 関教育長

① 妊娠期から子育て期に渡る切れ目ない支援を大事にしたい。一人一人の人權、子供の意見が尊重される心理的安全性が保たれる環境を作っていく。

② 体験活動として、生涯学習課の「木島平村ふるさと大学」等で、参加しやすい様々な講座を計画。

③ 長期休みに、農村交流館の研修室、ラウンジ、図書館を開放している。

④ 新しい施設を作ることは厳しい。現在ある施設を活用していく。

⑤ 小・中学校では「キャリアパスポート」を使用したキャリア教育を実施。自ら学習状況やキャリア形成を見返し、自身の変容や成長を自己評価できるようにしている。



# 馬曲温泉1年間休業。

## 早期再開を望む声に伝えてほしい

山浦 登 議員

### 観光施設民間譲渡 契約後の対応について

#### 質問

将来にわたり村民の望む方向で契約書を補足する合意文書を交わす必要があるとの意見をどのように受け止めるか。

11年目以降、観光施設に関して疑義が生じた場合、どのように対応される考えか。

#### 村長

契約の基本として、どちらかに不利益を約束する契約はできないということを基本として、リスクを買主側や事業実施側に制約を付けることができな

い。観光施設を売却、譲渡する環境にあって、そういった制約があるリスクを負ってまで木島平にこだわる必要はないと考えるのが普通だ。

#### 再質問

2月22日にSBC社長が、村民の前で述べられたことは大変重要。「転売はしない」「変更の際は村に相談する。」この内容を後世、契約当事者が交代することを想定し、双方が守り実行するために合意内容を文書で取

り交わすことは絶対必要ではないか。

#### 湯本産業課長

口約束であっても契約が成立すると解釈している。また、そういった状況になった場合には、協議をすることが大前提と考えている。

### 馬曲温泉再開の見通しについて

#### 質問

村の観光施設であり、村民の憩いの福祉施設でもある馬曲温泉が1年以上休業することで、経営面や村の福祉政策面にどのような影響を及ぼすと考えているか。

新事業者が決まるまでに1年間の休業期間があるが、再開を望む利用者の期待に比べて外湯だけでも再開できないか。「公募して応募がなければ、運営事業者が決まるまでの間村により規模を縮小して営業する」との方針が示されているが。

#### 村長

できるだけ早い段階で再開できるように進めている。

#### 湯本産業課長

新源泉の掘削は、概算3億円を超えると想定。現状の源泉で運営事業者の選定を進め、状況によって新源

泉の検討をしていく。ポンプなど著しく劣化した設備を一体に整備し、新たな体制でスタートする。

#### 再質問

議会で視察の際、温泉の内湯浴槽に湯が入っており、ポンプを止めることができないと説明があった。

#### 湯本産業課長

揚湯、送湯ポンプは劣化が進み、ポンプを止めることは非常にリスクが高く、止めることができない。一時休止し、整備してから、再開に向けて準備を進めたい。

### 子育て支援策について

#### 質問

子育て支援三つのゼロの政策を提案する。

一つは、小中学校の給食費のゼロ。二つには、国民健康保険税ゼロ。18歳以下の国民健康保険の保険税均等割をゼロ。

三つには、医療費のゼロ。

三つの提案を現在の被保険者数で試算した場合、必要な予算は。

#### 村長

三つの試算については、給食費の現在の児童負担が約1820万円、

国民健康保険税関係が121万円、医療費関係では約442万円ということ合計2383万円と試算。

現時点では、実施する計画はないが、既存の事業の効果等の検証を含め、少子化対策について検討を進めている。

### 地球温暖化対策について

#### 質問

地球温暖化対策委員会は、毎年一回、進捗状況を評価、次年度の方針を決定しているが、委員会での温室効果ガス削減取組みの評価は。事業は計画どおりに進んでいるか。実行計画の周知が足りないのでは。

#### 村長

地球温暖化対策は、世界全体で取り組まなければならない大きな問題であり、短期間で成果を出すことは困難。村民理解を得ながら、今後も継続して計画的に進めていく。

#### 丸山総務課長

令和3年11月に改定した地球温暖化対策実行計画は、4年度からの計画となつているため、委員会による効果検証は本年度からとなる。

馬曲川発電所設備改修、役場庁舎への太陽光発電設備設置。一人一人が気候危機打開に向け、生活様式の見直しも必要。村民の意識醸成が大切。広報や公式ウェブサイトを活用しながら情報発信に努めていく。



# 村の将来に明るい展望を作るのが 行政の使命である。

丸山 邦久 議員

## 3期目の具体的な政策について

質問

2期で何を成し、何をやり残したのか。3期目の政策は何か。

村長

村民生活を支える課題解決に取り組んできた。やり残したことは、観光施設の民営化、少子化対策、道の駅ファームスの再構築である。

再質問

観光施設を売却せざるを得なくなったことへの責任は。

この売買契約は、商法で禁じている自己契約ではないのか。

村長

1 村が経営していくことは難しい。  
2 弁護士と確認をしながら進めているため問題ないと考える。

## 観光施設の売却価格について

質問

土地62ヘクタールと観光施設18を一万円で売る根拠は。

湯本産業課長

「不動産鑑定評価額」を基準として村有財産評価委員会で決定した。

再質問

1 不動産評価書を議会に提出を。

2 村有財産評価委員は、副村長および課長で構成され、村長の意のままに動く組織ではないか。

湯本産業課長

1 公表はしない。

2 委員会の議事録は公開できる。

再々質問

一万円の売買価格は皆が驚いている。正当な価格と考えているか。

村長

観光産業が継続できるので良かったと考えている。

## アドバイザリー業務の費用 8292万円について

質問

アドバイザリー業務費用8292万円は非常に巨額に感じる。  
1 2社で見積りをして530万円高いにも関わらず選定された理由と選定された企業名は。

2 選定企業に委託した目的は。  
3 どのようなアドバイスに支払われた対価か。

4 報告書はあるか。

5 6325万円から8292万円に増額された理由は。

6 8292万円の価値のあるアドバイスを得られたか。

湯本産業課長

1 2社から見積りを取り、辻・本郷ビジネスコンサルティング㈱を選定した。  
2 行政外の専門知識が必要となり委託を決めた。

3 不動産譲渡・株式譲渡に伴う法務支援。

4 報告書は頂いている。

5 当初見込んでいた譲渡スケジュールの延長（10月↓3月）と、馬曲温泉の会社分割業務追加のため。

6 本業務なくしてできなかった事業であると判断している。

再質問

1 議会の説明資料に2社の見積りがあったが、本当に見積りは2通あるのか。  
2 なぜ、社名は伏せられたのか。

湯本産業課長

1 概算見積りは1社である。  
2 選定の前のため企業名は伏せた。

再々質問

1 議会に提示された2社の見積りの公開を。  
2 なぜ途中で1社になったのか。

湯本産業課長

1 (答弁なし)  
2 概算見積りは、予算要求するため

の資料として1社からもらっている。その後、正式な見積りを徴収した段階で1社になった。

## 村の情報開示に対する 姿勢について

質問

今年の3月議会で、観光施設売却の契約書が提示されたが、すぐに回収されたと聞いた。観光施設は村民の共有財産であるから、積極的に情報開示すべきでは。

村長

契約の内容に、事業継続、社員の雇用の継続、買戻し特約の設定の3点を盛り込んだ。議会に契約書の内容を確認していただき、議決をいただいた。  
契約締結前だったため回収した。

再質問

1 社員の雇用継続が契約書にあるというが、すでに3分の2の社員が退職している。  
2 買戻し特約の登記がされていないが、手落ちではないか。

湯本産業課長

1 自主退社と聞いている。  
2 今後、買戻し特約の登記をする。

再々質問

先に抵当権設定の登記をされたら、契約書の買戻し特約は何の意味もなさない。

湯本産業課長

登記を早くするよう依頼している。



# 村民のために開かれた村政を

湯本 行浩 議員

## 地域活性化起業人について

### 質問

2年間の実績と3年目の計画は。また、地域資源の発掘・コンテンツ化・商品化した運用販売の内容や新たな事業の検討などの進捗状況は。

### 村長

合同会社シユタインと協定し、企業の持つノウハウを生かし、観光振興について、令和3年度から観光振興局において業務を行っている。

### 湯本産業課長

地域の魅力を形にし発信すること、四季を通じた魅力づくり（スキー場依存からの脱却）をテーマにしている。

1年目の村内でのヒアリング、市場調査等を経て、翌年からEIBIKEの商品づくり、トレイルランニングを中心としたコースのデータベースづくりの検討、カヤの平高原の活用提案などを行っている。

また、地域おこし協力隊の採用にも関わり、将来的には村内での定住や創業への誘導、教育支援を行っている。

あわせて、カヤの平高原の有効活用も提案いただき、今年度は、合同会社シユタインがカヤの平高原の指定管理者として管理運営を行っていく。

### 再質問

カヤの平高原の有効活用の提案とは。

### 湯本産業課長

キャンプを始めとして、地元の方を含め、大勢の方に訪れていただく取組みを進めていく。

### 再々質問

物事を進めるときは、立案、実行結果の検証、評価、改善をしていくが、結果の検証、改善が見えない。これが不安要素ではないか。行政も計画を実行することが目的にならないよう村の活性を。

### 湯本産業課長

地域活性化起業人は最終の3年目になっている。観光振興局内総会で事業報告している。村の取組みでもあるため、ある程度の内容についてはお伝えしていきたい。

## 地域おこし協力隊の取組みについて

### 質問

行政ではできなかった柔軟な地域おこし策、斬新な視点の提案はあったか。自身の才能・能力を活かした活動、理想とする暮らしや生きがいの発見のために、話し合いとフォローをしているか。

### 丸山総務課長

自身の能力や才能を活かした活動を中心に活躍。日々相談をしながら活動を支援している。

### 再質問

村全体でもっと彼らに寄り添う必要があるのでは。

### 丸山総務課長

基本的には協力隊員の自主性に任せている。相談等があれば、こちらの意見を延べ、支援も対応していく。

### 再々質問

村全体で協力することで定住者も増えると思うが、検討を。

### 丸山総務課長

協力隊の意向を確認して、必要があれば機会を設けていきたい。

## ファームス木島平について

### 質問

①現在、運営を希望する事業者がいるとのことだが、その後の進捗状況は。また、事業計画は出ているか。

②タイムスケジュールは。

### 湯本産業企画室長

①施設のコンセプトも含めて再検討。運営希望者は「公民連携手法」等も参考に手法を検討し、公募していく。その中で事業計画、運営のアイデアなどを提案いただく。

②再生整備は、複数年にわたり改めて説明の予定。今年度中に基本計画の策定、来年度に実施方針と募集要項の公表、令和7年度に事業者選定および施設整備工事関係の契約、令和8年度に整備、令和9年度に新たな施設と事業者による運営開始を想定。

### 再質問

4年間は現状維持か。また、新たな施設は公金を投入するのか。

### 湯本産業企画室長

大きく変更する予定はない。国の有利な補助金等の活用を想定。

### 再々質問

令和8年度に実施できないか。

### 湯本産業企画室長

長期利用財産のため、国に財産処分の届出をし、具体的に動けるのが令和7年4月からとなる。



# 馬曲温泉は、暫定的に風呂だけでも営業を！

山崎 栄喜 議員

## 馬曲温泉の運営について

### 質問

馬曲温泉は、いままでの譲渡方針から、20年間の長期貸付に変更し、公募プロポーザルにより運営事業者を選定し、再開は来年4月以降になるという。そこで、

①新源泉の掘削は村が行うのか、運営事業者が行うのか。また、掘削を村が行う場合には、その費用と財源は。

②施設の修繕及び改修は運営事業者の負担で実施。土地貸付料は3年間無償、4年目から20年目まで総額2386万8千円を村に支払う。この条件で運営事業者が決まる見込みがあるのか。

③運営事業者が決まるまでの間、暫定的に温泉だけでも営業できないか。

④運営経費捻出のため、クラウドファンディングや、ふるさと納税返礼品に入湯券を加えてはどうか。

※クラウドファンディングとは…目的等に賛同した多数の人からの資金を財源にし、事業等を行うこと。

### 湯本産業課長

①村の所有であり、村負担を想定。できるだけ村の負担とならないよう検討する。

②民間事業者の参入リスクをできるだけ軽減するため、初期投資分と大きな将来投資リスクを軽減する。

③今のところ予定はない。

④クラウドファンディングは難しい。ふるさと納税による寄附が現実的で、参考にする。

### 再質問

①プロポーザル概要では、新源泉の湧出量が毎分100ℓを切る状況になったら協議するとのある。

一方、施設の修繕及び改修については事業者負担で実施するとのあり、整合性が取れない。新源泉掘削の財源は、明確な答弁がなかったが、議員とすれば審査に必要。

また、全額村費でも掘削を行うのか。

②お湯は現在も出続けている。村民や観光客に寄り添い、少しくらいの負担が生じてても、温泉だけでも早期に再開を。

### 村長

②人件費、ポンプの電気料、加温に

係る光熱水費がかなりかかる。どれくらいの村負担になるか算出して検討する。

### 湯本産業課長

①新源泉の財源は、運営者が決まっていなくてもあり検討中。

また、全額村費での掘削は難しい。

### 再質問

プロポーザル要綱決定までに、財源が決まるのか。

### 湯本産業課長

新源泉の負担は、公募要綱の中に示していく。

100ℓが、その運営事業者にとって必要な量なのか、また、全然足りない量なのか、わからない部分もあり、表記については、早急に検討する。

## 村民との対話集会の開催について

### 質問

長野県は、知事が県内すべての市町村を訪問して語り合う「知事との県民対話集会」を開催している。「対話と共創」を図る開かれた県政の取り組みであり、大変意義深い。

本村では、毎年地区づくり懇談会

を開催してきたが、年々開催する区が減少し、村民が村に意見や要望を伝えたくても、なかなか機会がない。本村でもテーマを絞り、村民と直接対話する機会を設けたらどうか。

### 村長

村では、第7次総合振興計画の策定にあたり、現在、各団体の皆様にテーマに沿ったヒアリングをお願いし、私も参加し、ご意見やご提案を伺っている。

現時点、対話集会は計画していないが、団体の皆様のヒアリングを進める中で、必要と判断した場合は実施する。

### 丸山総務課長

昨年度はアンケート調査を実施し、今年度は団体ごとにテーマを設定し、理事者出席の上でヒアリングを行っている。団体メンバーの皆様から、日ごろ感じている課題や将来に向けたご意見やご提案をいただいている。

### 再質問

一般村民の意見は、どのくらい反映されるのか疑問。

具体的に、ファームス木島平、馬曲温泉については、どの団体とヒアリングを行う予定なのか。

### 丸山総務課長

個々の施設への意見はいただいている。今後、どういった聴取の仕方があるのか、担当課と確認する。



# 木島平の観光再生に「アイデアと力」を

湯本 直木 議員

## 観光行政について

### 質問

- ① 現段階で村のインバウンドに対しての誘客戦略は。
- ② ゴールデンウィーク期間中の村内観光施設への入込状況は。
- ③ 地域活性化起業人の統一コンセプトの実績・効果は。
- ④ 観光施設民営化の契約書内の「事業の運営状況について5年間は村への資料提供を行うこと」の具体的な内容は。

### 湯本産業課長

を通じた魅力づくり、スキー場依存からの脱却」のテーマに繋がると理解している。観光振興局事業において、このコンセプトをよりどころとした事業展開を図っており、「E-BIKEの活用」や、村の米・食材でもてなしとして「村内企業との連携」「地域おこし協力隊を活用した幅広い情報発信」を実施。効果は、今後検証されると捉えている。

④ 決算報告書、事業の実施状況が分かるものを5年間提出することとしている。公共財産の譲渡であるため、一定期間はきちんと事業を行っているのか検証することを目的としている。

### 再質問

- ① インバウンドの誘客は、企業の取組みに対して支援していくとのことだが、企業との打合せは総合戦略の中のコメントと離れすぎていないか。
- ② 今後の村の観光施策を決定するに、過去のデータの蓄積は非常に大事。担当課でできないのであれば振興局のスタッフを活用するなど前向きに実施を。

③ 地域活性化起業人の実績の検証結果は、いつ公表できるのか。具体的な時期と方法は。また、業務報告や実績報告等の管理体制は。

### 湯本産業課長

- ① 総合戦略の数字は平成27年からのものであり、村の観光事情も変化しているため、見直しの必要がある。
- ② 滞在型観光の推進は、今後民間企業や宿泊事業者の方に合わせ、観光振興局の広域的な取組みを含めて滞在の数字を増やしていきたい。
- ③ 地域活性化起業人は、今年度が最終の業務期間。期間終了時にその効果はどうであったかの報告をする。業務提携先の合同会社シユタインとは、年4回の打合せ業務を行っており、今までの業務内容、これからの業務計画を確認している。
- ④ 具体的な書類について村としては、企業がしっかり事業をやっ

ているかが分かる書類というところで、事業規模が分かる損益書類と入込数が分かる書類と考える。

### 再々質問

- (1) 地域活性化起業人の実績報告の内容は何を求めるか。
- (2) 民営化に関わる事業の情報公開はするのか。公開できるとすれば、どのような公開方法を予定しているのか。

### 湯本産業課長

- (1) 事業報告の様式は特に決まっていない。事業内容が分かる形でお願する。
- (2) 決算状況の公開は、一企業の場合であるため検討が必要。公開できるとすれば、入込状況などになると考えている。

そのほか、次の質問をしました。

- ・ 連携協定締結の6大学との連携の実績とその考察、今後の予定について
- ・ 第2期木島平村総合戦略の進捗状況について
- ・ 「木島平型教育」とは
- ・ 保育園、小・中学校の警備体制は
- ・ オムツの持ち帰りについて
- ・ 庁内の人事評価について